

乗馬安全マニュアル

平成 28 年 5 月

★ 9-11の項目はスタッフの指示に従ってください。

1. 服装や道具について

- ① 服装は動きやすい格好で、乗馬しましょう。怪我防止のため、長ズボン・長めの靴下（足首までののはNG）・手袋（軍手でも可）がお勧めです。
- ② スニーカーや底の柔らかい靴では、足が鐙（あぶみ）に深く滑り込んだり、ひもが鐙にまきついたり危険です。ヒールの高さが1-2cmのものが鐙を踏んだときに安定します。
- ③ ヘルメットは3点固定式の顎ひものついたものが世界共通の最低安全基準です。
- ④ これから乗馬を本格的に始めてみようという方は、基本の3点セット（ヘルメット・ブーツ・キュロット）+グローブ・ベルト（+キャリーバッグ・ジャケット）をご用意ください。
- ⑤ 事務所で、貸出用のブーツ・ヘルメットをご用意しています。（有料）

2. 馬の特性について

（馬について知っておこう・馬と楽しむ入門編を参考にしましょう）

- ① 馬は臆病な動物です。馬に近づくととき（馬房などで）は正面からではなく、斜め前から近づきましょう。
- ② 耳がよく聞こえます。静かに接するようにしましょう。
- ③ 馬の視野は350度もあります。死角となる部分からは近づくと、馬に蹴られることがありますので、馬の後ろには立たないようにしましょう。
- ④ 遠くはよく見えますが、近くのをみるのは苦手です。納得するまで見せるようにしましょう。
- ⑤ 臭覚が発達しています。刺激臭を伴うものを近づけないようにしましょう。
- ⑥ 馬は安全・安心を好みます。むやみに叱らないようにしましょう。

3. 馬房から馬をだす・馬装をする

レッスン15分前に馬を馬房からだして繋ぎ馬に連れて行きます。

（スタッフが下乗りをする場合は30分前から馬装を始めます）

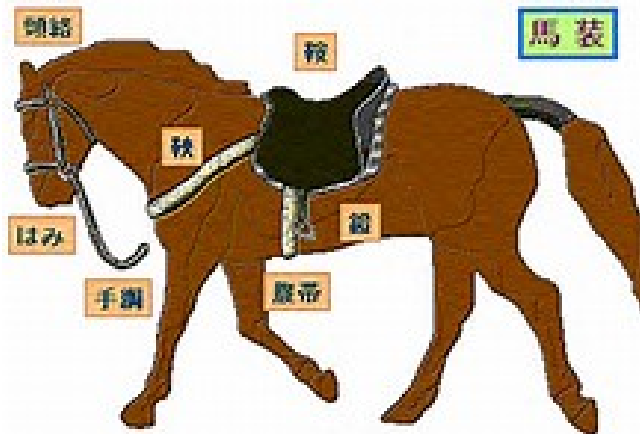
馬をだす時・馬装時の注意点

- ① 不用意に馬の真正面に立たない
- ② 壁（柵）と馬との間に立たない
- ③ 馬の表情を無視して不用意に触らない
- ④ 馬を引くときは馬の左側を歩く。
- ⑤ 手綱やリードロープを絶対に手に巻き付けない、地面に引きずらない。
- ⑥ マンホールの上はすべるので通らない。
- ⑦ 夏など虫の多い季節は、手入れ中に後ろ足で蹴られないように注意する。

・馬装

基本の馬装

頭絡（ハミ） 鞍・ゼッケン・ボア（クッションのようなもの）



プロテクター（馬の脚につける）



手順

- ① 裏掘り、ブラシ掛け
- ② プロテクター装着
- ③ 鞍付け
- ④ 頭絡をつける

（馬によって順番や馬具が異なることがあります。わからないことがある場合はスタッフに聞いてください。）

4. 馬の乗り降りと馬場内での注意点

- ① 馬に乗る前に馬装をチェックしましょう！
正しく馬装できていますか？
腹帯はしまっていますか？
- ② 馬装終了後、馬を馬場の入り口まで引いて騎乗は馬場内で行いましょう。
繋ぎ場や洗蹄場、コンクリートの上では乗らないでください。
- ⑤ スタッフから指示が出るまでは勝手に運動しないでください。
- ⑥ 基本的に馬同士がすれ違う時は左側通行です。
- ⑦ 下馬後、馬房に連れて行って、排尿させます。

5. 乗った後の馬の手入れと後片付け

初めての方にはインストラクターが説明をしますのでそれに従ってください。

・手入れ

- ① 装着した馬具を外しましょう。頭絡、鞍、プロテクターの順番です。
- ② 裏掘りをして、脚についた砂を落としましょう。
- ③ 馬体をきれいにしましょう。(脚元、鞍下は入念に！)
- ④ 尻尾・鬣は毛が抜けてしまうので強くやらないで下さい。(生えるまで時間がかかります) ブラシや濡れタオル、時にはお湯で洗ってきれいにします。

・馬具の片づけ

使用した馬具と道具は必ず元の場所に片づけてください。

ハミは水で洗ってからタオルで拭いてください。

鞍や頭絡、プロテクターは使用後にきれいにしてください。

後片付け

施設の物品を使用した時は必ず元の場所へ戻してください。

※鞭や手入れ道具は次に使う人の為に所定の位置に戻しましょう。

※繋ぎ場や休憩室を散らかしたら、後片付けをしましょう。

6. 事故発生時のこと

施設内で万が一事故（ケガ等）が発生した場合には直ちに近くのスタッフに報告してください。

当協会では施設内での事故については事故の無いよう細心の注意をはらい保険にも加入し 万全を期してはおりますが、大動物を相手にしているため想定のできないような事故が起きてしまうこともあります。

また、事故発生時は応急の処置（救急車等の手配等）はいたしますが 施設内での事故や盗難等に対する責任は一切負いませんので、ご自身や身の回り品等につきましても各自責任の下での管理をお願いいたします。

それぞれでご自身等を補償するための保険（スポーツ安全保険をはじめとする個人賠償責任特約つき傷害保険や携行品等を補償する保険など）にご加入いただくことをお勧めしています。

安全に楽しく乗馬しましょう！

わからないことがありましたら、お気軽にスタッフまで声をおかけください。